

2012年(平成24年)3月14日 水曜日

岐 阜 新 聞



国税局鑑定官が
新酒の味を確認
12蔵出品、研究会

飛騨酒造組合は13日、高山市天満町の飛騨地域地場産業振興センターで新酒研究会を開いた。写真。飛騨

地域の12蔵の新酒計63点が出品され、国税局の鑑定官らからアドバイスを受けた。

各蔵の新酒が出そろった時期に合わせて毎年開いている。名古屋国税局鑑定官室の三宅優室長ら3人が、ずらりと並んだ新酒を一品ずつ口に含み、味を確認した。各蔵の杜氏(とうじ)らも利き酒をして、味を確かめ合った。三宅室長によると、

今冬は冷え込みが厳しく、酒造りには適した気候だったという。総評では、「どの酒も、飛騨の地酒らしい素朴で素直な味わいの酒に仕上がっている」と話した。

(三輪真大)